



※本プレスリリースはジャガー・ランドローバーが 2017 年 2 月 7 日に発表したプレスリリースの参考翻訳です

2017 年 3 月 1 日  
(日本語訳発行日)  
L17U003

---

## ランドローバーBAR、第 35 回アメリカズカップを戦うレース艇「Rita」を発表 歴史あるスポーツ・トロフィーを英国へ

---

- ベン・エイズリー卿率いるランドローバーBAR は、英国領バミューダ諸島で行われる第 35 回アメリカズカップを戦うレース艇「Rita」を発表
- ランドローバーのエンジニアが持つ専門知識や経験が、史上最速、かつ最も高度な技術を搭載したレース艇の設計をサポート
- 世界最古のスポーツ・トロフィーを懸けた戦いに向け、最終調整とトレーニングに注力



### 2017 年 2 月 6 日、バミューダ発

ベン・エイズリー卿率いるランドローバーBAR は、アメリカズカップの次なる戦いを控え、史上最速かつ最高の技術を結集させたレース艇を発表しました。このレース艇は、「世界最古のスポーツ・トロフィーを英国に持ち帰る」という、ただ 1 つの目標のために、ジャガー・ランドローバーのエンジニアと共に開発されました。

約 50 年前、英国はフットボールで世界一となり、テニス界ではフレッド・ペリー以来 77 年の時を経て英国人選手がウィンブルドンの男子シングルス王者となりました。しかし英国は、166 年の歴史を持つアメリカズカップにおいて、未だ優勝に手が届いていません。

英国領バミューダ諸島で発表したレース艇は、ベン・エイズリー卿と彼の妻ジョージ・エイズリー、娘のベラトリックスによって「Rita」と命名されました。「Rita」は勝利を導く由緒ある名前であり、エイズリー卿はこれまでもこの名前を好んで使用してきました。

ジャガー・ランドローバーは、最新モデルの開発に用いるエンジニアリング・スキルを、ランドローバーBAR と共有しています。エアロダイナミクス、自己学習車両、人工知能(AI)、仮想モデリング技術のすべてが、レース艇の速度向上に寄与しています。ジャガー・ランドローバーは、研究開発、エンジニアリングに対して英国



最大規模の投資を行っており、新型モデルの開発製造および改良に数十億ポンドを費やしています。ランドローバーBAR とのパートナーシップにより、ジャガー・ランドローバーのエンジニアは自身のレベルを引き上げるだけでなく、新しい方法を異なる環境やプラットフォームで試すことができるようになるのです。

ジャガー・ランドローバーのリサーチ部門を統括する、トニー・ハーパーは、次のように述べています。「自動車とセーリングという 2 つの領域でのエンジニアリング・プロセス、幅広い STEM(科学、技術、工学、数学)プログラムにより、ジャガー・ランドローバーは開発、学習し、そしてランドローバーBAR チームに技術協力することができるのです。具体的には、ウイングセールの設計をサポートするため、業界初の空力テストを開発、採用しました。このプロジェクトの成功を受け、車両軽量化の分析・構築に関する知識を集結させ、船体下部にあるサーフボードのような形をしたダガーボードの構造設計もサポートしました。このダガーボードは、レース艇を安定させたり水面に浮き上がらせたり(フォイリング)する役割を担います。」

軽量ダガーボードは、ランドローバーの新型「DISCOVERY」の車体重量にも匹敵する 2,400kg もの耐重性が必要となるため、その設計は極めて重要です。

トニー・ハーパーはさらに次のように続けます。「英国の自動車ブランドとして、この素晴らしいプロジェクトに携わることができるのはとても光栄なことです。そして、この伝説的なレースに参戦するベン・エインズリー卿率いるランドローバーBAR をサポートでき、誇りに思います。」

ランドローバーBAR のマーティン・ウィットマーシュ CEO は、次のように述べています。「ジャガー・ランドローバーからのレース艇の最終設計に対するインプットは非常に有意義なものでした。我々の関係が深まるにつれ、連携のレベルもより高くなってきています。アメリカズカップはセーリング技術だけでなく、設計技術を競うレースでもあります。ロープやウィンチに加え、水面から浮かび上がりながら最大 96km/h(60mph)もの速さで進む高性能なレース艇を開発しています。こうした複雑な設計には、最先端のエンジニアリング・スキルと深い見識が必要となり、F1 世界選手権と同じように、ジャガー・ランドローバーは、この設計技術の戦いに大きな役割を果たしてくれるでしょう。」

ベン・エインズリー卿は次のようにコメントしています。「我々の新しいレース艇である『Rita』がバミューダ諸島の海に浮かぶ姿を見ることができ、格別な思いがこみ上げてきます。アメリカズカップのトロフィーを英国に持ち帰るために、チーム全員が努力をしてきました。それが実を結んだのです。ここバミューダの海に『Rita』を持ち込むことができ、大きな喜びを感じています。私たちは発足間もないチームではありますが、レース艇のみならず、設計およびエンジニアリングのチーム、設備、さまざまなプロセスの構築などを経て、今日この日を迎えることができました。第 35 回アメリカズカップの戦いが再開するまでわずか数か月しかありません。これから、このレース艇の最終調整とテストを行い、万全の態勢でレースに臨むために忙しい日々が始まります。」

設計調整や、セーラーがバミューダ諸島の海でトレーニングを積むのに残された時間は、4 か月を切っています。

第 35 回アメリカズカップは、2017 年 5 月 26 日からレイ・ヴィトン・アメリカズカップ・クオリファイヤーズが開催し、6 月末には勝者が決定します。何十万もの人々がバミューダ諸島でこのイベントを観戦し、TV の視聴者数はそれ以上になると予想されます。ランドローバーBAR は、米国、フランス、スウェーデン、ニュージーランド、日本のチームと戦います。

以上



## エディターズ・ノート

### ランドローバーについて

ランドローバーは 1948 年以来、そのモデル・シリーズ全体にわたり、本格的な 4x4 を継続して製造しています。「DEFENDER」、「DISCOVERY」、「DISCOVERY SPORT」、「RANGE ROVER SPORT」、「RANGE ROVER」、そして「RANGE ROVER EVOQUE」は、それぞれが世界の 4x4 市場の各カテゴリーを代表するモデルです。現在、これらのモデルの 80%は輸出され、世界 170 カ国以上で販売されています。

ジャガー・ランドローバーは、自動車に関するエンジニアリング研究や新型モデルの開発製作に、英国のなかでも最大規模の投資をしており、今年度は製品開発と設備投資に 30 億ポンド(約 4,200 億円)以上の投資が予定されています。素晴らしい知性と、成長と成功の機会が、アメリカズカップを英国に持ち帰るというミッションを成し遂げるための鍵となります。ジャガー・ランドローバーは、自動車のエンジニアリングにおける機会とインスピレーション創出のためにデザインされた STEM(科学、技術、工学、数学)プログラムを通じ、ランドローバーBAR のプロジェクトをサポートしています。

### ランドローバーBAR について

ベン・エインズリー・レーシング(BAR)は、ケンブリッジ公爵妃殿下列席のもと、2014 年 6 月 10 日に結成されました。このチームは、オリンピックで 4 個の金メダルを獲得し、第 34 回アメリカズカップで優勝した、ベン・エインズリー卿により発足されました。ベン・エインズリー卿は 1851 年に英国で始まったアメリカズカップの優勝トロフィーを奪還し英国に持ち帰るべく結成した英国チームを率います。これはいまだどのチームもなしえていないことです。

ランドローバーBAR は民営のスポーツ・チームで、企業パートナーと共に多くの個人投資家の支援を受けており、英国内外の最高レベルのセーラー、デザイナー、職人、サポーターで構成されるチームです。

スポーツ・チームは社会における重要な模範となり、名誉ある立場です。これはランドローバーBAR においても同様で、当チームが及ぼす影響力は、レースの垣根を超えて広く波及していくことを前提に、2014 年に「Exclusive Sustainability Partner 11th Hour Racing」とともにチームを立ち上げて以来、運営におけるサステナビリティ(持続可能性)を重視しています。

英国ポーツマス中心部に 7 万 4,000 平方フィートもの本部拠点を新設し、ランドローバーBAR のさまざまな活動を担っています。「1851 Trust」によるビジター・センターも公開予定です。

「1851 Trust」は、ケンブリッジ公爵妃殿下がロイヤル・パトロンを務めるランドローバーBAR 公式の慈善事業です。

※1 ポンド=140 円にて換算(2017 年 3 月 1 日現在)

ランドローバーとランドローバーBAR に関する詳細は、下記からもご覧いただけます。

<http://www.landrover.co.jp/experiences/sponsorship/ben-ainslie-racing.html>  
[LandRoverBAR.com](http://LandRoverBAR.com)

Land Rover ウェブサイト: <http://www.landrover.co.jp>

YouTube: <https://www.youtube.com/user/landroverchanneljp>

Facebook: <https://www.facebook.com/LandRoverJapan>

Twitter: <https://twitter.com/LandRoverJPN>

Instagram: <https://www.instagram.com/landroverjpn/>

#### ◆お問い合わせ先◆

ランドローバーコール(フリーダイヤル)0120-18-5568  
(9:00~18:00、土日祝日を除く)